

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
I-1- (1)-① 仕事と 子育て の両立 支援	1	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライ フ・バランス 推進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働 き方や生き方を選 択でき、活力ある 豊かな社会を実現 するため、企業等 の取組支援などを 行うとともに、企 業や地域での様々 な活動と連携しな がら仕事と生活の 調和（ワーク・ラ イフ・バランス） の推進を図る。	仕事と生活の調 和が図られてい ると感じる人の 割合	68.5% (R1年 度)	目標 R1年度比 増加	実績 66.2 %	達成率 96.6 %	R1年度比 増加 (R6年 度)	継続	8,005	7,475	減額	8,400	順調	仕事と生活の両立が図られて いると感じる人の割合が上 昇するように、女性活躍・ ワークライフバランス表彰の 実施や企業へのアドバイザー 等の派遣、各種セミナーの開 催等、企業への支援を継続し て実施するとともに、事業の 効果的なPRを図る。また、特 に自力で取組を推進しにくい 状況にある中小企業を中心 に、女性活躍やワーク・ライ フ・バランスの推進に係る助 成金等の情報提供や社会保険 労務士の派遣などの取組支援 を充実させる。	順調	企業については、引き続き 各種支援を通じて意識改革を 一層推進していくとともに、 企業のニーズを踏まえ、効率 的な事業実施や効果的なPRを 検討していく。また、中小企 業を中心に助成金等の情報提 供や社会保険労務士の派遣な どの取組支援を充実させる。
	2	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推 進事業	女性 活躍 推進 課	働く女性・働 きたい女性が、各 々の希望に応じ、 その個性と能力を 十分に発揮し輝け るよう、キャリア アップや就職、創 業支援、子育てと の両立支援等、幅 広く女性の就業を 支援するほか、 ウーマンワークカ フェ北九州の更な る周知広報と新規 利用者の獲得を図 る。	女性の就業率 (25～44歳)	70% (H27年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし	実績 —	達成率 —	73% (R5年 度)	継続	10,250	11,092	増額	9,300	順調	女性の就労支援について は、働く女性・働きたい女性 が、各々の希望に応じ、その 個性と能力を十分に発揮して 活躍できるよう、引き続き幅 広い支援を行う。 特に、コロナ禍で厳しい雇 用情勢となっているところ、 子育て中の女性でも相談しや すいようウーマンワークカ フェ北九州に新たにオンライン などの相談体制を充実させ る。また、子育て中の女性の 就労支援や女性の管理職・起 業家支援などのセミナー等運 営に際しても、対象のニーズ に合わせた効果的な方法を工 夫して実施する。	順調	女性の就労支援について は、「ウーマンワークカ フェ北九州」においてオンライン などの相談体制を充実させ る。 各種セミナー等について は、対象のニーズに合わせた 効果的な方法を工夫して実施 する。
					ダイバーシテ ィ行動宣言等登 録・届出企業 (累計)	597社 (H26年 度)	目標 単年度目標 なし	実績 1,390 社	達成率 —	1,600社 (R6年 度)										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
II-3-(2)-① 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	3	⑤ ⑧ ⑩	北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム推進事業	女性活躍推進課	女性職員の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進は一体的に取組みを推進することにより相乗効果が高まるため、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画「女性活躍推進アクションプラン（第2期：平成26年度～30年度）」と次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム（平成27年度～31年度）」を整理・統合し、令和元年5月に「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を策定した。組織の持続的な成長と多様化する市民ニーズへ対応するため、性別にかかわらず活躍できる組織風土を醸成し、全ての職員が育児や介護等のライフスタイルの変化に応じて柔軟な働き方を選択することで、いきいきと働きがいを持って活躍できる職場を目指す。	17.6% (H30年度)	19.6 %	なし	なし	23% (R5年度)	継続	6,608	4,520	減額	10,475	順調	順調	市職員の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進については、令和元年5月策定の「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を着実に実施していく。特に、女性職員の長期的・計画的な育成に資する研修等を通じて、女性の活躍推進を加速させる。 男女共同参画社会の形成の推進にあたって効果的な取組を実施するため、市民のニーズ等を踏まえながら講座などの事業内容の見直しに取り組む。 「男女共同参画フォーラム in北九州」や「男女共同参画広報啓発事業」の推進により、市民に対する広報活動を効果的に実施する。	
			女性役職者（係長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）	17.6% (H30年度)	19.6 %	なし	なし	23% (R5年度)											
			女性管理職（課長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）	13.6% (H30年度)	13.1 %	なし	なし	15% (R5年度)											
			部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」 ※指標廃止	88.0% (H27年度)	94.7 %	なし	なし	95% (R5年度)											
			男性職員の育児休業取得率 ※指標廃止	14.8% (H29年度)	42.7 %	なし	なし	30% (R4年度)											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
4	④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑰		男女共同参画 センター管理 運営事業	男女 共同 参画 推進 課	男女共同参画セ ンター・ムーブに おいて、施設の運 営をはじめ、地域 に根ざした男女共 同参画推進、女性 リーダー育成、就 職・再就職に向けた 就業・キャリア アップ支援、ある いは相談事業など、 様々な事業を展 開し、男女共同 参画社会の形成を 推進する。	性別による固定 的役割分担意識 に肯定的な人の 割合	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	H29年度 の水準 より減 少 (R4年 度)	継続	251,653	244,088	維持	8,950	順調	新型コロナウイルス感染症 拡大の影響により、令和2年 度は講座開催件数や参加者数 は減少したが、効率化を図り つつ男女共同参画社会の形成 の推進に向けたイベントや講 座の開催、就業・キャリア アップ支援、相談事業など を、事業計画に基づき実施 し、市民の意識改革に繋げて いく。	
							実績	—											
							達成率	—											
						男女共同参画社 会という言葉の 認知度	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	80 %	80% (R4年 度)								
							実績	—											
							達成率	—											
5	④ ⑤ ⑩ ⑰		地域における 男女共同参画 推進啓発事業 【男女共同参 画広報・啓発 事業】	男女 共同 参画 推進 課	地域における男 女共同参画の推進 を図るため、地域 で活動している団 体・グループ等が 企画・実施する広 報啓発活動を支援 し、男女共同参画 に関する理解を深 める。	性別による固定 的役割分担意識 に肯定的な人の 割合	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	H29年度 の水準 より減 少 (R4年 度)	継続	3,470	3,421	維持	5,050	やや 遅れ	新型コロナウイルス感染症 拡大の影響により、令和2年 度は一部事業を中止し実施回 数及び参加者数は減少した が、コロナ禍においてオンラ イン等の新たな実施手法を取 り入れた。令和4年度におい てもその成果を生かすため、 「男女共同参画フォーラム in 北九州」及び「男女共同参画 に関する広報啓発事業」を実 施する団体それぞれに対し、 イベント内容や参加対象の幅 を広げる工夫を行うよう引き 続き働きかけ、市民への意識 改革に繋げていく。	
							実績	—											
							達成率	—											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度			予算額 (千円)	予算額 (千円)						
II-3-(2)-② ワー ク・ラ イフ・ バラ ンス（仕 事と生 活の調 和）の 推進	6	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライ フ・バラ ンス 推進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働 き方や生き方を選 択でき、活力ある 豊かな社会を実現 するため、企業等 の取組支援などを 行うとともに、企 業や地域での様々 な活動と連携しな がら仕事と生活の 調和（ワーク・ラ イフ・バランス） の推進を図る。	指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	中期 目標	成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						目標	68.5% (R1年 度)	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度 比増加 (R6年 度)	継続	8,005	7,475	減額	8,400	順調	仕事と生活の両立が図られて いると感じる人の割合が上 昇するように、女性活躍・ ワークライフバランス表彰の 実施や企業へのアドバイザー 等の派遣、各種セミナーの開 催等、企業への支援を継続し て実施するとともに、事業の 効果的なPRを図る。また、特 に自力で取組を推進しにくい 状況にある中小企業を中心 に、女性活躍やワーク・ライ フ・バランスの推進に係る助 成金等の情報提供や社会保険 労務士の派遣などの取組支援 を充実させる。	順調	企業については、引き続き 各種支援を通じて意識改革を 一層推進していくとともに、 企業のニーズを踏まえ、効率 的な事業実施や効果的なPRを 検討していく。また、中小企 業を中心に助成金等の情報提 供や社会保険労務士の派遣な どの取組支援を充実させる。 市内企業等のイクボス推進 については、「北九州イクボ ス同盟」設立5周年の節目に おいて、記念イベントや先進 事例の広報等を実施し、イク ボス同盟の拡大及び本市全体 の機運醸成を図る。 市職員の女性活躍やワー ク・ライフ・バランスの推進 については、令和元年5月策 定の「北九州市職員女性活 躍・ワークライフバランス推 進プログラム」を着実に実施 していく。特に、女性職員の 長期的・計画的な育成に資す る研修等や育児休業中の職員 に対するモバイル端末を活用 した復職サポート等を通じ て、女性の活躍推進を加速さ せる。
7	⑤ ⑧ ⑭	北九州イクボ ス同盟推進事 業	女性 活躍 推進 課	働く人の幸せ、 生産性・業績の向 上、人材確保に繋 がり、その先にあ る「働きやすいま ち北九州」を目指 すために、平成29 年度に設立した 「北九州イクボス 同盟」を推進し、 経営者・管理職の 意識改革を図る。	指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	中期 目標	成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
					目標	68.5% (R1年 度)	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度 比増加 (R6年 度)	拡大	5,955	9,455	増額	9,550	順調	市内にイクボスをさらに普 及させるための研修会等を引 き続き実施する。また、「北 九州イクボス同盟」の設立5 周年記念イベントや先進事例 の広報を実施することで、 「イクボス」及び「北九州イ クボス同盟」の認知度向上 や、働き方改革の機運のさら なる醸成を図る。	順調	市内にイクボスをさらに普 及させるための研修会等を引 き続き実施する。また、「北 九州イクボス同盟」の設立5 周年記念イベントや先進事例 の広報を実施することで、 「イクボス」及び「北九州イ クボス同盟」の認知度向上 や、働き方改革の機運のさら なる醸成を図る。	
					ダイバーシテ ィ 行動宣言等登 録・届出企業 (累計)	597社 (H26年 度)	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	1,600社 (R6年 度)									
							実績	1,390 社												
							達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
8	⑤ ⑧ ⑩		北九州市職員 女性活躍・ ワークライフ バランス推進 プログラム推 進事業	女性 活躍 推進 課	女性職員の活躍 とワーク・ライ フ・バランスの推 進は一体的に取組 みを推進すること により相乗効果が 高まるため、女性 活躍推進法に基づ く特定事業主行動 計画「女性活躍推 進アクションプラン (第2期：平成26 年度～30年度)」 と次世代育成支援 対策推進法に基づ く特定事業主行動 計画「北九州市職 員ダイバーシティ 推進プログラム (平成27年度～31 年度)」を整理・ 統合し、令和元年5 月に「北九州市職 員女性活躍・ワー クライフバランス 推進プログラム」 を策定した。組織 の持続的な成長と 多様化する市民 ニーズへ対応する ため、性別にかか わらず活躍できる 組織風土を醸成 し、全ての職員が 育児や介護等のラ イフスタイルの変 化に応じて柔軟な 働き方を選択する ことで、いきいき と働きがいを持って 活躍できる職場 を目指す。	両立しながら新 たな業務等に チャレンジした と思う職員の 割合	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	80% (R5年 度)	継続	6,608	4,520	減額	10,475	大変 順調		
							実績	—											
							達成率	—											
						男性職員の育児 休業取得率	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	30 %	30% (R4年 度)								
							実績	42.7 %											
							達成率	—											
						部課長級の多面 評価「イクボス 10か条を実践で きている管理職 の割合」	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	95% (R5年 度)								
							実績	94.7 %											
							達成率	—											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度			予算額 (千円)	予算額 (千円)						
9	⑤ ⑧ ⑩		テレワーク推 進事業	女性 活躍 推進 課	仕事と生活を両 立する仕組みづく りのひとつとし て、情報通信技術 を活用した柔軟な 働き方の整備を推 進するため、職員 一人一人のライフ ステージや生活ス タイルに合った働 き方を実現できる テレワークの本格 導入に向けて試 行拡充を行う。	在宅勤務の実施 人数 (女性活躍推進 課で管理する端 末の利用分)	—	目標 25 人	30 人	45 人	100人 (R2~R4 年度累 計)	継続	5,330	5,100	維持	5,825	大変 順調			
						実績 82 人														
						達成率 328.0 %														
9	⑤ ⑧ ⑩		テレワーク推 進事業	女性 活躍 推進 課	仕事と生活を両 立する仕組みづく りのひとつとし て、情報通信技術 を活用した柔軟な 働き方の整備を推 進するため、職員 一人一人のライフ ステージや生活ス タイルに合った働 き方を実現できる テレワークの本格 導入に向けて試 行拡充を行う。	テレワークデー ズへの参加	—	目標 30 日			参加の 継続	継続	5,330	5,100	維持	5,825	大変 順調			
						実績 —														
						達成率 —														
9	⑤ ⑧ ⑩		テレワーク推 進事業	女性 活躍 推進 課	仕事と生活を両 立する仕組みづく りのひとつとし て、情報通信技術 を活用した柔軟な 働き方の整備を推 進するため、職員 一人一人のライフ ステージや生活ス タイルに合った働 き方を実現できる テレワークの本格 導入に向けて試 行拡充を行う。	育児休業者を対 象とした復職サ ポートの実施人 数  ※指標追加	—	目標 —		30 人	実施の 継続	継続	5,330	5,100	維持	5,825	大変 順調			
						実績 —														
						達成率 —														
II-3-(2)-③ 性別による人 権侵害行為の 根絶	10	⑤ ⑩ ⑰	男女共同参画 基本計画推進 事業（配偶者 等からの暴力 対策事業）	男女共同 参画 推進 課	配偶者や恋人 等、親しい関係に ある人からの暴力 は、重大な人権侵 害であることを誰 もが認識し、暴力 を容認しない意識 の醸成のための広 報・啓発を行う。	配偶者等との間 における「平手 で打つ」につい て、暴力と認識 する人の割合	71.1% (H29年 度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	80 %	80% (R4年 度)	継続	5,751	5,853	維持	5,050	順調			
実績 —																				
達成率 —																				
II-3-(2)-③ 性別による人 権侵害行為の 根絶	10	⑤ ⑩ ⑰	男女共同参画 基本計画推進 事業（配偶者 等からの暴力 対策事業）	男女共同 参画 推進 課	配偶者や恋人 等、親しい関係に ある人からの暴力 は、重大な人権侵 害であることを誰 もが認識し、暴力 を容認しない意識 の醸成のための広 報・啓発を行う。	配偶者等との間 における「平手 で打つ」につい て、暴力と認識 する人の割合	71.1% (H29年 度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	80 %	80% (R4年 度)	継続	5,751	5,853	維持	5,050	順調			若年時からの意識改革は重 要であり、令和3年度改訂の 小・中学生向け男女共同参画 に関する副読本を用いた、子 どもの頃からの男女共同参画 への意識の醸成を図る取組 や、高校・大学などでのデー トDV予防教室、DV啓発リーフ レット配布の取組などを継続 していく。
実績 —																				
達成率 —																				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
II-3-(2)-④ 女性の活躍推進	11	⑤ ⑧ ⑩	北九州市職員 女性活躍・ ワークライフ バランス推進 プログラム推進 事業	女性活躍推進課	<p>女性職員の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進は一体的に取り組むことにより相乗効果が高まるため、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画「女性活躍推進アクションプラン（第2期：平成26年度～30年度）」と次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム（平成27年度～31年度）」を整理・統合し、令和元年5月に「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を策定した。組織の持続的な成長と多様化する市民ニーズへ対応するため、性別にかかわらず活躍できる組織風土を醸成し、全ての職員が育児や介護等のライフスタイルの変化に応じて柔軟な働き方を選択することで、いきいきと働きがいを持って活躍できる職場を目指す。</p>	<p>女性役職者（係長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）</p>	17.6% (H30年度)	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 19.6 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 13.1 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 94.7 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 42.7 %</p> <p>達成率 —</p>	23% (R5年度)	継続	6,608	4,520	減額	10,475	順調	<p>女性職員キャリア研修やメンター研修を通して、女性職員のキャリア形成の意識付けを行う。また、令和4年度より、女性職員の長期的・計画的な育成のため、新たに係長級及び課長級の女性職員を対象とした研修等を実施し、女性管理職等の比率向上を目指す。</p> <p>【指標廃止の理由】 イクボス関係の指標は、II-3-(2)-②ワークライフバランスの推進にのみ掲載するよう整理し、削除するもの。</p>	<p>市職員の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進については、令和元年5月策定の「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を着実に実施していく。特に、女性職員の長期的・計画的な育成に資する研修等や育児休業中の職員に対するモバイル端末を活用した復職サポート等を通じて、女性の活躍推進を加速させる。</p> <p>市内企業等のイクボス推進については、「北九州イクボス同盟」設立5周年の節目において、記念イベントや先進事例の広報等を実施し、イクボス同盟の拡大及び本市全体の機運醸成を図る。</p> <p>女性の就労支援については、「ウーマンワークカフェ北九州」オンラインなどの相談体制を充実させる。</p> <p>各種セミナー等については、対象のニーズに合わせた効果的な方法を工夫して実施する。</p> <p>ウーマンワークカフェ北九州の運営については、利用促進に向けた一層の周知広報を図るとともに、引き続き女性の多様なライフキャリアに合わせたきめ細かい支援を行う。</p> <p>女性の活躍が進んでいない分野への若年層の進路選択について、既存の事業を整理し、市内高等教育機関や理工系企業と連携した取組を効果的・効率的に支援する。</p>
					<p>女性管理職（課長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）</p>	13.6% (H30年度)	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 13.1 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 13.1 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 13.1 %</p> <p>達成率 —</p>	15% (R5年度)										
					<p>部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」</p>	88.0% (H27年度)	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 94.7 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 94.7 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 94.7 %</p> <p>達成率 —</p>	95% (R5年度)										
					※指標廃止		<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 94.7 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 94.7 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 94.7 %</p> <p>達成率 —</p>	95% (R5年度)										
					<p>男性職員の育児休業取得率</p>	14.8% (H29年度)	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 42.7 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 42.7 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 42.7 %</p> <p>達成率 —</p>	30% (R4年度)										
					※指標廃止															
					<p>働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がりを、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。</p>	<p>仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合</p>	68.5% (R1年度)	<p>目標 RI年度比増加</p> <p>実績 66.2 %</p> <p>達成率 96.6 %</p>	<p>目標 RI年度比増加</p> <p>実績 66.2 %</p> <p>達成率 96.6 %</p>	<p>目標 RI年度比増加</p> <p>実績 66.2 %</p> <p>達成率 96.6 %</p>	RI年度比増加 (R6年度)	拡大	5,955	9,455	増額	9,550	順調	<p>市内にイクボスをさらに普及させるための研修会等を引き続き実施する。また、「北九州イクボス同盟」の設立5周年記念イベントや先進事例の広報を実施することで、「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、働き方改革の機運のさらなる醸成を図る。</p>		
					<p>ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）</p>	597社 (H26年度)	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 1,390 社</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 1,390 社</p> <p>達成率 —</p>	<p>目標 単年度目標なし</p> <p>実績 1,390 社</p> <p>達成率 —</p>	1,600社 (R6年度)										

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		中期 目標	予算額 (千円)							予算額 (千円)				
13	⑤ ⑧ ⑩		テレワーク推 進事業	女性 活躍 推進 課	仕事と生活を両立する仕組みづくりのひとつとして、情報通信技術を活用した柔軟な働き方の整備を推進するため、職員一人一人のライフステージや生活スタイルに合った働き方を実現できるテレワークの本格導入に向けて試行拡充を行う。	在宅勤務の実施人数 (女性活躍推進課で管理する端末の利用分)	目標	25 人	30 人	45 人	100人 (R2~R4 年度累 計)	継続	5,330	5,100	維持	5,825	大変 順調							
							実績	82 人																
							達成率	328.0 %																
					テレワークデー ズへの参加	目標	30 日			参加の 継続	継続	5,330	5,100	維持	5,825	大変 順調								
						実績	—																	
						達成率	—																	
					育児休業者を対象とした復職サ ポートの実施人数  ※指標追加	目標			30 人	実施の 継続	継続	5,330	5,100	維持	5,825	大変 順調								
						実績																		
						達成率																		
14	④ ⑤ ⑧ ⑩		女性輝き！推 進事業	女性 活躍 推進 課	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。	女性の就業率 (25~44歳)	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73% (R5年 度)	継続	10,250	11,092	増額	9,300	順調							
							実績	—																
							達成率	—																
											ダイバーシティ 行動宣言等登 録・届出企業 (累計)	目標	単年度目標 なし			1,600社 (R6年 度)	継続	10,250	11,092	増額	9,300	順調		
												実績	1,390 社											
												達成率	—											
<p>【指標追加の理由】 テレワークは、令和3年度のモバイル端末の確保により本格導入に移行した。それに伴い、復職サポートも本格実施できる見込みとなったため、この度指標を追加するもの。</p>																								
<p>女性の就労支援については、働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続き幅広い支援を行う。 特に、コロナ禍で厳しい雇用情勢となっているところ、子育て中の女性でも相談しやすいウーマンワークカフェ北九州に新たにオンラインなどの相談体制を充実させる。また、子育て中の女性の就労支援や女性の管理職・起業家支援などのセミナー等運営に際しても、対象のニーズに合わせた効果的な方法を工夫して実施する。</p>																								



【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																																										
施策番号 ・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)																																		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		中期 目標	予算額 (千円)			予算額 (千円)	事業 評価	局施策 評価																																			
15	⑤ ⑧ ⑩		ウーマンワーク カフェ北九 州運営事業	女性 活躍 推進 課	女性の就職・ キャリアアップ・ 創業などをワン ストップで支援 する「ウーマン ワークカフェ北 九州」を運営 する。	女性の就業率 (25～44歳)	70% (H27年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73% (R5年 度)	継続	32,514	32,616	維持	6,800	やや 遅れ																																				
							実績	—																																													
							達成率	—																																													
						ウーマンワーク カフェ北九州新 規利用者数 ※指標廃止	—	目標 3,340 人	3,380 人		3,500人 (R6年 度)									継続	32,514	32,616	維持	6,800	やや 遅れ																												
							実績	1,983 人																																													
							達成率	59.4 %																																													
						ウーマンワーク カフェ北九州利 用者の就職決定 率 ※指標追加	—	目標			33 %																				35% (R6年 度)	継続	32,514	32,616	維持	6,800	やや 遅れ																
							実績																																														
							達成率																																														
						ウーマンワーク カフェ北九州相 談者数 ※指標追加	—	目標			6,300 人																				6,500人 (R6年 度)												継続	32,514	32,616	維持	6,800	やや 遅れ					
							実績																																														
							達成率																																														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
16	④ ⑤ ⑧ ⑩		次世代活躍応援事業	女性活躍推進課	女性の就職促進を目指し、性別による固定的な価値観や生き方を払拭するため、学生の頃から「多様な働き方」などの啓発に取り組む。また、子ども・学生の成長段階にあわせた研究・職業体験プログラムの提供に取り組む高等教育機関を支援する。	女性の就業率 (25～44歳) ※指標廃止	70% (H27年 国勢調査)	目標 単年度目標 なし	実績 —	単年度目標 なし	73% (R5年 度)	継続	3,980	2,200	減額	4,825	やや 遅れ	若年層（小中高生）に対して、特に理工系などの女性の活躍が進んでいない分野への進路選択の動機づけを行うため、既存の事業を整理し、市内高等教育機関と市内企業が連携して、子どもや学生の成長段階にあわせた研究・職業体験プログラムの提供や女性ロールモデルの提示などを行う際の支援を効果的・効率的に実施する。	
						ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	—	目標 3,340 人	実績 1,983 人	3,500人 (R6年 度)	達成率 59.4 %								
						研究・職業体験プログラム参加者数 ※指標追加	—	目標 —	実績 —	500人 (R6年 度)									
II-3-(4)-① 平和の尊さへの理解の促進	17	④	平和のまちミュージアム管理・運営事業	総務課	戦後75年以上が経過し、戦争の記憶の風化が懸念される中、戦争の悲惨さを市民に伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとするため、「平和のまちミュージアム」を令和4年4月下旬に開館する。開館後は円滑な施設運営と、来場促進に向けた様々な取組を行う。	(仮称) 平和資料館の建設 ※指標廃止	—	目標 建築工事・展示製作等の実施	実績 建築工事・展示製作等の実施	建築工事・外構工事・展示製作等の実施	(仮称) 平和資料館の建設	継続	386,346	42,000	その他	44,000	順調	戦後75年以上が経過し、悲惨な戦争の記憶の風化が懸念される中、平和の大切さ等を考えるきっかけとする「平和のまちミュージアム」を令和4年4月下旬に開館する。開館後は円滑な施設運営を行うとともに、幅広い世代が訪れるよう、市内のミュージアム施設等と連携した共同展示や、「平和のまちミュージアム」を拠点に、近隣の歴史・文化施設等を見学する周遊コースづくり等の取組を行う。	令和4年4月下旬に開館する「平和のまちミュージアム」について、円滑な施設運営に加え、子どもたちや子育て世代をはじめ、幅広い世代の方に訪れてもらえるよう、学校教育との連携のほか、様々な企画展・講座の実施など、来場促進に努める。また、「嘉代子桜・親子桜」の植樹や長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣事業」等を着実に実施し、戦争の記憶を後世へと伝えていく。
						平和のまちミュージアム年間来館者数 ※指標追加	—	目標 —	実績 —	50,000 人									
						達成率	—	50,000 人 (毎年度)											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
18	④	非核・平和推 進事業	総務課	本市の平和に対 する基本的姿勢を 示す「北九州市非 核平和都市宣言」 に込められた平和 への願いを市民に 伝えるため、また、 悲惨な戦争の記憶 を風化させること なく次の世代に伝 えるため、事業を 実施するもの。	市民が平和の尊 さを理解し、共 有していくこと	目標	—	—	—	市民が 平和の 尊さを 理解す ること	継続	10,000	10,000	維持	6,400	順調	引き続き「嘉代子桜・親子 桜」の植樹や、長崎市が主催 する「青少年ピースフォー ム」への小中高校生の派遣、 親子で平和の尊さを考えるた めの「長崎市平和派遣事業」 等に取組み、戦争の記憶を後 世へと伝えていく。		
					実績	—													
					達成率	—													
19	⑦	北九州市自治 基本条例推進 事業	総務課	本市の自治の基 本的ルールを定め た「北九州市自治 基本条例」（平成 22年10月1日施行） の意義や理念など を多くの市民に理 解してもらうため、 周知等を行う。また、 情報共有や住民参 画の視点から業務 を行い、条例の目 指すまちづくりが できるよう、職員 向けの研修を行う。	市民が主役の自 治（市民自治） の確立	目標	—	—	—	市民自 治の確 立	継続	1,110	1,110	維持	4,650	順調	引き続き、市民向けの周知 活動や職員に対する研修等 を実施する。また、特に市政 への関心が低い若い世代への 周知を図るため、大学等への 出前講演などに取り組む。		
					実績	—													
					達成率	—													
III-3- (3)-① 市民参 画と協 働のた めの仕 組みづ くり	20	⑦	<新>公民連 携推進事業	行政 経営 課	民間事業者から の提案受付件数 (年間)	民間事業者から の提案受付件数 (年間)	目標			5 件	5件 (R4年 度累 計)	—	—	6,100	—	4,775	—	厳しい財政状況の中で、新 たな税外収入の確保および事 業の効率化を目的として、民 間の知見・ニーズを汲み取る ための仕組みづくりを行うも の。 令和4年度は、専用ホーム ページの開設、また、専用 ホームページを活用した広報 等、積極的な情報発信を実施 することで、事業の周知を図 る。	市民が主役の自治（住民自 治）の確立に向け、自治基本 条例に対する理解を深め、市 民の市政への参画を推進して いくため、今後も条例の周知 活動を継続実施していく。 また、厳しい財政状況の中 で、新たな税外収入の確保及 び事業の効率化を目的とし て、民間の知見・ニーズを汲 み取るための仕組みづくりを 行うもの。 さらに、令和4年度は、専 用ホームページの開設、ま た、専用ホームページを活用 した広報等、積極的な情報発 信を実施することで、事業の 周知を図る。
						実績	—												
						達成率	—												
						目標			10,000 千円	新たな 税外収 入の確 保									
						実績	—												
						達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)														
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標													
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の 地域活 動への 参画促 進	21	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライ フ・バランス 推進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働 き方や生き方を選 択でき、活力ある 豊かな社会を実現 するため、企業等 の取組支援などを行 うとともに、企業 や地域での様々 な活動と連携しな がら仕事と生活の 調和（ワーク・ライ フ・バランス） の推進を図る。	仕事と生活の調 和が図られてい ると感じる人の 割合	68.5% (R1年 度)	目標 R1年度比 増加	実績 66.2 %	R1年度比 増加	96.6 %	R1年度比 増加 (R6年 度)	継続	8,005	7,475	減額	8,400	順調	仕事と生活の両立が図ら れていると感じる人の割合が上 昇するように、女性活躍・ ワークライフバランス表彰の 実施や企業へのアドバイザー 等の派遣、各種セミナーの開 催等、企業への支援を継続し て実施するとともに、事業の 効果的なPRを図る。また、特 に自力で取組を推進しにくい 状況にある中小企業を中心 に、女性活躍やワーク・ライ フ・バランスの推進に係る助 成金等の情報提供や社会保険 労務士の派遣などの取組支援 を充実させる。	順調	引き続き各種支援を通じて 意識改革を一層推進していく とともに、企業のニーズを踏 まえ、効率的な事業実施や効 果的なPRを検討していく。ま た、中小企業を中心に助成金 等の情報提供や社会保険労務 士の派遣などの取組支援を充 実させる。												
Ⅳ-3-(2)-① 若年者 の就業 意識の 啓発や 能力開 発・就 職活動 への支 援	22	④ ⑤ ⑧ ⑩	次世代活躍志 願事業	女性 活躍 推進 課	女性の就職促進 を目指し、性別に よる固定的な価値 観や生き方を払拭 するため、学生の 頃から「多様な働 き方」などの啓発 に取り組む。 また、子ども・ 学生の成長段階に あわせた研究・職 業体験プログラムの 提供に取り組む 高等教育機関を支 援する。	女性の就業率 (25～44歳) ※指標廃止	70% (H27年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし	実績 —	単年度目標 なし	—	73% (R5年 度)	継続	3,980	2,200	減額	4,825	やや 遅れ	若年層（小中高生）に対し て、特に理工系などの女性の 活躍が進んでいない分野への 進路選択の動機づけを行うた め、既存の事業を整理し、市 内高等教育機関と市内企業が 連携して、子どもや学生の成 長段階にあわせた研究・職業 体験プログラムの提供や女性 ロールモデルの提示などを行 う際の支援を効果的・効率的 に実施する。  【指標廃止・追加の理由】 「次世代」を対象とする事 業の内容に、より適した指標 とするため。 また、女性の就業率は「女 性輝き！推進事業」、「ウー マンワークカフェ北九州運 営事業」の成果指標に統合す る。	順調	女性の活躍が進んでいない 分野への若年層の進路選択に ついて、既存の事業を整理 し、市内高等教育機関や理工 系企業と連携した取組を効果 的・効率的に支援する。												
					ウーマンワーク カフェ北九州新 規利用者数	—	目標 3,340 人	実績 1,983 人	—	—	59.4 %	3,500人 (R6年 度)																					
					研究・職業体験 プログラム参加 者数 ※指標追加	—	目標 300 人	実績 —	—	—	—	500人 (R6年 度)																					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
IV-3-(2)-② 女性が活躍する産業都市づくりの推進	23	④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑰	男女共同参画センター管理運営事業	男女共同参画推進課	<p>男女共同参画センター・ムーブにおいて、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就業・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進する。</p>	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	26.7% (H29年度)	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	H29年度(26.7%)の水準より減少	H29年度の水準より減少(R4年度)	継続	251,653	244,088	維持	8,950	順調	<p>男女共同参画社会の形成の推進にあたって効果的な取組を実施するため、市民のニーズ等を踏まえながら講座などの事業内容の見直しに取り組む。</p> <p>市内企業等のイクボス推進については、「北九州イクボス同盟」設立5周年の節目において、記念イベントや先進事例の広報等を実施し、イクボス同盟の拡大及び本市全体の機運醸成を図る。</p> <p>女性の就労支援については、「ウーマンワークカフェ北九州」オンラインなどの相談体制を充実させる。</p> <p>各種セミナー等については、対象のニーズに合わせた効果的な方法を工夫して実施する。</p> <p>ウーマンワークカフェ北九州の運営については、利用促進に向けた一層の周知広報を図るとともに、引き続き女性の多様なライフキャリアに合わせたきめ細かい支援を行う。</p>	順調	<p>男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、就業・キャリアアップ支援、相談事業などを、事業計画に基づき実施し、市民の意識改革に繋げていく。</p>
								実績	—												
24	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	<p>働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。</p>	女性の就業率(25~44歳)	70% (H27年国勢調査)	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	73% (R5年度)	継続	10,250	11,092	増額	9,300	順調	<p>女性の就労支援については、働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続き幅広い支援を行う。</p> <p>特に、コロナ禍で厳しい雇用情勢となっているところ、子育て中の女性でも相談しやすいウーマンワークカフェ北九州に新たにオンラインなどの相談体制を充実させる。また、子育て中の女性の就労支援や女性の管理職・起業家支援などのセミナー等運営に際しても、対象のニーズに合わせた効果的な方法を工夫して実施する。</p>	順調	<p>女性の活躍が進んでいない分野への若年層の進路選択について、既存の事業を整理し、市内高等教育機関や理工系企業と連携した取組を効果的・効率的に支援する。</p>	
							実績	—													
					ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業(累計)	597社 (H26年度)	目標	単年度目標なし													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
25	⑤ ⑧ ⑰	北九州イクボス同盟推進事業	女性活躍推進課	働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がり、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。	仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合	目標	R1年度比増加	R1年度比増加	R1年度比増加	R1年度比増加 (R6年度)	拡大	5,955	9,455	増額	9,550	順調	市内にイクボスをさらに普及させるための研修会等を引き続き実施する。また、「北九州イクボス同盟」の設立5周年記念イベントや先進事例の広報を実施することで、「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、働き方改革の機運のさらなる醸成を図る。		
						実績	66.2 %												
						達成率	96.6 %												
					ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業(累計)	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	1,600社 (R6年度)									
						実績	1,390 社												
						達成率	—												
26	⑤ ⑧ ⑩	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	女性の就職・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	女性の就業率(25~44歳)	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	73% (R5年度)	継続	32,514	32,616	維持	6,800	やや遅れ	【指標廃止・追加の理由】 令和2年度から電話相談、令和4年度からオンライン相談の開始を予定しており、それらの件数も含めた指標とすることが適当であるため。 また、求職者への就職支援の効果測定として、就職決定率を成果指標とすることが適切であるため。		
						実績	—												
						達成率	—												
					ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	目標	3,340 人	3,380 人		3,500人 (R6年度)									
						実績	1,983 人												
						達成率	59.4 %												
					※指標廃止	目標				35% (R6年度)									
						実績													
						達成率													
					ウーマンワークカフェ北九州利用者の就職決定率	目標			33 %	6,500人 (R6年度)									
						実績													
						達成率													
ウーマンワークカフェ北九州相談者数	目標			6,300 人	6,500人 (R6年度)														
	実績																		
	達成率																		

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度	R4年度に向けて	R2年度	R4年度に向けて		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度			予算額 (千円)	予算額 (千円)			事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
27	④ ⑤ ⑧ ⑩		次世代活躍応援事業	女性 活躍 推進 課	女性の就職促進 を目指し、性別に よる固定的な価値 観や生き方を払拭 するため、学生の 頃から「多様な働 き方」などの啓発 に取り組む。 また、子ども・ 学生の成長段階に あわせた研究・職 業体験プログラムの 提供に取り組む 高等教育機関を支 援する。	女性の就業率 (25～44歳) ※指標廃止	70% (H27年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし		73% (R5年 度)	継続	3,980	2,200	減額	4,825	やや 遅れ			若年層（小中高生）に対し て、特に理工系などの女性の 活躍が進んでいない分野への 進路選択の動機づけを行うた め、既存の事業を整理し、市 内高等教育機関と市内企業が 連携して、子どもや学生の成 長段階にあわせた研究・職業 体験プログラムの提供や女性 ロールモデルの提示などを行 う際の支援を効果的・効率的 に実施する。  【指標廃止・追加の理由】 「次世代」を対象とする事 業の内容に、より適した指標 とするため。 また、女性の就業率は「女 性輝き！推進事業」、「ウー マンワークカフェ北九州運営 事業」の成果指標に統合す る。		
						ウーマンワーク カフェ北九州新 規利用者数	—	目標 3,340 人			3,500人 (R6年 度)											
						研究・職業体験 プログラム参加 者数 ※指標追加	—	実績 1,983 人			500人 (R6年 度)											
								達成率 59.4 %														
								目標 300 人														
								実績														
								達成率														
VII-1- (3)-③	28	④ ⑤ ⑩	(公財) アジ ア女性交流・ 研究フォーラ ム事業	男女 共同 参画 推進 課	「国際的な最新 情報の収集・発 信」「成果の地域 還元」「あらゆる 分野での女性の エンパワーメント」 「次世代育成」 「情報提供の充 実」を目指し、 様々な事業を実施 する、(公財)ア ジア女性交流・研 究フォーラムの活 動を支援する。	性別による固定 的役割分担意識 に肯定的な人の 割合	26.7% (H29年 度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	H29年度 の水準 より減 少 (R4年 度)	継続	39,000	39,000	維持	4,050	順調		「アジア女性会議」や市民 向けの研究報告会などの開催 を通じて、男女共同参画に関 する意識の醸成に努める。 「第4次北九州市男女共同 参画基本計画」を踏まえ、更 に効率的・効果的な取組を進 める。	順調	本市の男女共同参画社会の 形成の推進に向け、課題意識 や解決に繋がる取組を進めて いく。	
						男女共同参画社 会という言葉の 認知度	69.7% (H29年 度)	目標	単年度目標 なし	80 %	80% (R4年 度)											
								実績														
								達成率														